

第3回 殿ダムモニタリング委員会の総括

1. 審議の内容

平成24年11月30日に開催した第3回殿ダムモニタリング委員会において、以下の内容について審議を行った。

○対象事業

殿ダム建設事業

○審議内容

- (1) 殿ダム事業の進捗状況
- (2) モニタリング調査の概要
- (3) モニタリング調査の経過・結果
- (4) その他

2. 審議の結果

審議結果は以下のとおりである。

1) 全般について

- ・殿ダムの環境影響は、今年度のモニタリング結果では、顕在化していないと認められた。

2) 水質について

- ・貯水池内の植物プランクトンの採水は現在、表層で行っているが、クロロフィルaの濃度ピークは水温躍層付近にあるため、貯水池中央だけでもよいので追加を検討されたい。
- ・平成24年1月の下流河川(宮ノ下)の水質変化は、ダムの影響でないことを確認した。

3) イワヒバ・ミヤマウズラについて

- ・イワヒバ・ミヤマウズラの移植場所が日当たり・湿潤などの条件に適していたか確認・検証されたい。

4) 重要種の保全措置の効果検証について

- ・林道工事など他事業によるクマタカへの影響については、モニタリング調査計画の見直し提案で対応されたい。